

みたけ

2014.2.15
No.112
議会だより



(御嵩町消防出初式)

主な内容

- ◆第4回定例会…………… 2ページ
- ◆第4回臨時会…………… 4ページ
- ◆そこが知りたい～一般質問～…………… 5ページ
- ◆第3回御嵩町議会住民懇談会報告……………14ページ

平成25年 第4回定例会

平成25年第4回定例会は平成25年12月5日に開会し、12月13日までの9日間を会期として開会しました。提出案件は、平成25年度一般会計・特別会計補正予算、条例の一部改正など、議案が12件上程され、賛成全員で同意、可決されました。詳しくは、下記の議案の審議結果をご覧ください。また、報告案件が4件（議長報告4件）ありました。

一般質問には、町政の諸問題などについて7人の議員が登壇しました。（※関連5ページ）

議案の審議経過

今回、上程された議案は、民生文教常任委員会協議会（11/26）、総務建設産業常任委員会協議会（11/28）、全員協議会（12/2）、民生文教常任委員会（12/10）で内容確認及び審査を行いました。

議案の審議結果

【表示記号】 賛否状況：○…賛成 ×…反対 欠…欠席 -…議長のため採決に加わらない 議決結果：◎…可決、承認、認定、採択、同意 ●…否決、不承認、不認定、不採択	議 員 名										議 決 結 果	
	加藤 保郎	谷 口 鈴男	佐 谷 時繁	岡 本 隆子	大 沢 まり子	植 松 康祐	伊 崎 公介	山 田 儀雄	柳 生 千明	安 藤 雅子		山 口 政治
議案第57号から議案第68号	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎

人 事

議案第57号	御嵩町固定資産評価審査委員会委員の任命につき同意を求めることについて	平成25年12月20日をもって任期満了となる委員会委員1名【再任：三宅直樹 氏（大庭台）】の任命について議会の同意を求めるもの	賛成全員で同意 （※関連13ページ）
--------	------------------------------------	---	-----------------------

平成25年度 補正予算 （単位：千円）

	会 計 名	補正前予算	補正額	補正後予算
議案第58号	一般会計補正予算(第5号)	6,504,213	126	6,504,339
議案第59号	水道事業会計補正予算(第2号)	860,868	0	860,868

平成25年度 補正予算の内容

議案第58号	平成25年度御嵩町一般会計補正予算(第5号)について	歳入：公務災害補償保険金、住宅・土地統計県委託金の増額 歳出：退職手当組合特別負担金の計上、財政調整基金積立金、消防自動車購入費の減額	賛成全員で可決
議案第59号	平成25年度御嵩町水道事業会計補正予算(第2号)について	収益的支出：施設修繕費の増額、予備費の減額	賛成全員で可決

条 例

議案第60号	御嵩町延滞金の割合等の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	地方税法の改正などに伴い、関係する6つの条例を一括で改正するための条例を新規で制定するもの	賛成全員で可決
議案第61号	御嵩町小口融資条例の一部を改正する条例の制定について	中小企業信用保険法の改正により引用条項の改正をするもの	賛成全員で可決
議案第62号	御嵩町町税条例の一部を改正する条例の制定について	公的年金等に係る町民税の特別徴収、株式等に係る譲渡所得等及び配当所得等に係る課税の特例について改正をするもの	賛成全員で可決
議案第63号	御嵩町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	株式に係る配当所得、譲渡所得に対する課税の特例などに関する事項を改正するもの	賛成全員で可決
議案第64号	御嵩町障害者支援多機能事業所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	あゆみ館の指定管理団体の範囲を社会福祉法人から法人その他の団体まで拡大するため改正するもの	賛成全員で可決
議案第65号	御嵩町子ども・子育て会議設置条例の制定について	平成27年度からの子ども・子育て支援法施行に備え、「子ども・子育て支援事業計画」の策定を審議する「子ども・子育て会議」を設置するための条例を新規で制定するもの	賛成全員で可決

その他の議案

議案第66号	指定管理者の指定について	高齢者いきがい活動支援センターみたけ（ふらっとハウス）の指定管理者を「株式会社 技研サービス」に指定するもの	賛成全員で可決
議案第67号	指定管理者の指定について	高齢者いきがい活動支援センターふしみ（あっと訪夢）の指定管理者を「一般社団法人 みたけスポーツ・文化倶楽部」に指定するもの	賛成全員で可決
議案第68号	指定管理者の指定について	みたけ健康館の指定管理者を「一般社団法人 みたけスポーツ・文化倶楽部」に指定するもの	賛成全員で可決

諸般の報告（議長報告）

(1)	要望書	岐阜県建設技術協会
(2)	常任委員会所管事務調査報告書	総務建設産業常任委員会 民生文教常任委員会
(3)	定例監査実施報告書	平成25年10月実施
(4)	現金出納検査結果報告	(平成25年8月分から平成25年10月分)

平成25年 第4回臨時会

平成25年11月6日に、平成25年第4回臨時会を開会しました。
議案が3件上程され、原案のとおり承認・可決されました。また、報告案件が1件（町長報告）ありました。

議案の審議経過

今回、上程された議案は、全員協議会（10/31）で内容確認及び審査を行いました。

議案の審議結果

【表示記号】 賛否状況：○…賛成 ×…反対 欠…欠席 －…議長のため採決に加わらない 議決結果：◎…可決、承認、認定、採択、同意 ●…否決、不承認、不認定、不採択	議 員 名											議決結果	
	加藤 保郎	谷口 鈴男	佐谷 時繁	岡本 隆子	大沢 まり子	植松 康祐	伊崎 公介	山田 儀雄	柳生 千明	安藤 雅子	山口 政治		高山 由行
承認第4号、議案第55号、第56号	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎

予 算

承認第4号	専決処分(※)の承認を求めることについて（平成25年度御嵩町一般会計補正予算（第4号）について）	歳出：過誤納金還付金の増額、財政調整基金積立金の減額（10月2日付 専決）	賛成全員で承認
-------	--	---------------------------------------	---------

補正予算の内容

(単位:千円)

	会 計 名	補正前予算	補正額	補正後予算
承認第4号	平成25年度御嵩町一般会計補正予算（第4号）	6,504,213	0	6,504,213

条 例

議案第55号	御嵩町小規模公園条例の一部を改正する条例の制定について	御嶽宿ポケットパーク整備工事完了に伴い、条例に名称と所在地を追加するもの	賛成全員で可決
--------	-----------------------------	--------------------------------------	---------

その他の議案

議案第56号	工事請負契約の一部変更について	下水道事業 上之郷污水幹線（第6工区）工事（井尻地内）の契約額を変更するもの	賛成全員で可決
--------	-----------------	--	---------

諸般の報告（町長報告）

報告第12号	専決処分(※)の報告について（損害賠償の額）
--------	------------------------

※【専決処分とは】

地方自治法に基づき、本来議会の議決が必要な事項について、議決をせずに町長自らが決めること。緊急で、議会を招集する時間がない場合などに限った補充的手段。案件によっては、承認が必要なものと、必要でないものがあります。

平成25年 第4回定例会

そこが知りたい

一般質問は12月10日に行われ、一般質問には7人の議員が活発な質問をしました。

1 高山 由行 議員 ……6 ページ

- 「FMらら」御嵩ミーモスタジオについて
- 魅力ある御嵩町づくりについて

2 岡本 隆子 議員 ……7 ページ

- 公共施設更新について
- 上之郷小・中学校の今後について

3 谷口 鈴男 議員 ……8 ページ

- 水道料金の見直しについて

4 佐谷 時繁 議員 ……9 ページ

- 亜炭鉱廃坑の今後の対応について

5 山口 政治 議員 ……10 ページ

- 近隣市・町とのバスの連携

6 大沢 まり子 議員 ……11 ページ

- 行政サービスの向上について
- 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律案」をうけて

7 安藤 雅子 議員 ……12 ページ

- 女性消防団員の獲得に向けて

あなたも議会を傍聴しませんか

議会では、町民の皆様の暮らしに密着した重要な問題が審議されます。

所定の受付簿に住所、氏名等を記入し、傍聴券の交付を受けることにより、町議会を傍聴することができます。お気軽にお越しください。

くわしくは、議会事務局までお問い合わせください。

☎ 67-2111 (内線 2252)

文責についてお知らせ

一般質問の「問・答」は、質問議員本人の文責です。一般質問のページに掲載した内容について、議員に直接連絡がつかない場合は、ご質問の内容、お名前、連絡先（住所、電話番号等）を添えて、議会事務局まで書面にてお届けくだされば、各議員に連絡いたします。

町議会の 一般質問を 放映しています

議会で行われた一般質問をケーブルテレビで見ることが出来ます。当日に生放送される予定ですが、録画放送及び再放送もされますので、町議会を傍聴することが出来ない方は、ぜひご覧ください。

FMらら・御嵩ミーモスタジオの今後



高山 由行

問 御嵩ミーモスタジオについて

御嵩ミーモスタジオは、御嵩町と災害時報道支援協定を締結し、平成25年当初予算の緊急雇用創出事業の一環で、「FMらら」御嵩ミーモスタジオとして7月に開局し、御嶽宿の活性化の拠点、また災害時の町民の情報源として、公共性の高いものである。

現在までの活用状況と評価を総務部長に、また町長には、当初予算の時に一年間限定の事業だと聞いていますが、財政支援も含めて町の今後の支援のあり方を伺う。

答 【総務部長】

平成24年度に本町は、「FMらら」が災害時における町内の被害状況や避難情報などきめ細かな情報を町民に提供できることから100万円を出資しています。ただ、出資しただけでは、町民への認知が不十分であることから「よつてりやあみたけ情報局」の名称で本町がスポンサーとなった番組を放送したり、サテライト局として御嵩ミーモスタジオを開局し、夏祭りや産業祭の中継放送を行うなど今後も認知度アップに努めていきます。

答 【町長】

FMは災害時の有

効な情報提供ツールであると思っているが、維持をするためには

平常時に聞いていただかなければならない。

平成25年度に特別な事業として御嵩ミーモスタジオを開設することができたが、来年度の継続にあり相当な見積もり額が提示されている。このコストをどれだけ下げることができるかを「FMらら」とも協議し、来年度の対応を早急に決めなければならぬ。

防災については国も予算を多く計上している現状であり、防災ツールとしてのFMが有効であることは先の震災の際にも証明されている。

公的支援として

防災関連の財源が確保できるかを研究し、コストを下げることに同時進行で対応を考えた。



御嵩ミーモスタジオ

問 魅力ある御嵩町づくりのできる人の雇用について

まちづくり課を先頭に、各課の各担当部署においても魅力ある御嵩町にするべく努力していただいておりますが、各課をまたいで、町民の生の声を聞いて、地域資源を掘り起こし、御嵩町の魅力アップにつながる様な形を町政に取り入れていける人を雇用できない

か伺う。

答 【副町長】

町民の皆様からの町行政に対する提案・提言・意見については、「まちへのご意見箱」などを活用しお寄せいただいている。お寄せいただいた提案などについては、町長や関係課で検討し、貴重な意見として参考にさせていただいている。

町の魅力アップにつながる人材の確保については、亜炭鉱廃坑対策や環境モデル都市関連など重点施策が山積していることや、職員数に関する町定員適正化計画を考慮すると困難な状況にある。今後については、各課間の更なる連携を図り、魅力ある町づくりに努めていきたい。

上之郷小・中学校の今後について



岡本 隆子

問 公共施設更新について

私たちの周りにある公共施設の多くが、一斉に老朽化を迎える。減少する歳入と増える歳出との間で知恵を出してやりくりしていかなければならぬ。

①一元管理できる部署の設置についてどのようにされるお考えか。

②今後の公共施設のあり方について、行政改革推進委員会での進捗状況についてお聞きしたい。

③中児童館・中保育園について、以前頂いた資料では、平成27年に耐震工事実施予定となっている。民営化、児童館との併設

等、今後のあり方については十分な話し合いの場が必要であると思うが、どのように対応していくお考えか。

答 【総務部長】

②11月開催の平成25年度第2回御嵩町行政改革推進委員会において、町の55の施設を行政系施設、保育・福祉施設、住民文化系施設、学校教育系施設など10に分類し、それぞれ耐震基準を満たしている建物の割合や、総務省の基準数値による更新費用を用いた更新費用の試算内容などを説明しています。

③中児童館・中保育園の改修、運営等の方向性や、協議の場

の設定については、現在お答えできる明確なものはありません。

答 【町長】

①亜炭鉱廃坑問題対策、環境モデル都市等の組織を構築し、一元管理の部署の設置は考えていない。理由は既に何回も答弁させていただいている。

③民営化については審議会等を立ち上げる等、十分な話し合いの場が重要と考えている。耐震工事は、建物の状況で優先順位を考えている。

問 上之郷小・中学校の今後について

上之郷小学校の平成26年度以降の入学予定者は次の表で示されている。小・中

学校の一クラスの児童・生徒数は15人前後で推移しているが、今後の学校運営について、議論を始めるべき時が来ているのではないかと。教育長の見解を伺いたい。

上之郷小入学予定者

入学年度	人数(人)
H26	8
H27	20
H28	5
H29	10
H30	8
H31	7

答 【教育長】

上之郷小・中学校がより活性化するため、三点考えている。

①保護者や地域の皆さんの意向を適切に反映する組織として、学校運営協議会を設置する。委員は教育委員会が任命し、学校の基本方針の承認

や学校運営について教育委員会へ意見を述べるができる。

②小中教職員の兼務による専門性を生かした教科担任制等により、一層の学力の向上を図る小中一貫教育の推進「上之郷学園構想」を順次推進していく。

③保護者の意見を踏まえて、教育委員会が就学する学校を指定する学校選択制の調査研究を進める。

再質問

学校運営協議会はいつごろをめどに設置を考えているか。

答 【教育長】

必要な教育委員会規則を策定し、来年度はできる校区から準備会を発足させて進めていきたい。

水道料金の見直しについて



谷口 鈴男

問 水道料金の見直しについて

県営水道料金が4月から1割程度値下げされることになっているが、その結果、我が町にとっては受水費の2千万円程度の減額が考えられる。町にとっては水の安定供給を確保するための施設改修等、多大な費用は予想されるであろうが、昨今の経済状況下において、高止まりで維持されている水道料金を見直し、値下げすることは政策上必要であると考えます。水道経営審議会にその検証を諮問されてはどうか。町長の見解を伺う。

答 町長

本町の非常に高額な水道料金については、最初の町長選挙のマニフェストで10%値下げを掲げ、平成20年度から実施できた。企業会計についても努力をしてきた結果、平成25年度には一般会計からの繰り出しの必要がなくなり、効率の良い経営が成り立つたと感じている。

得た。本町の水道料金については5%前後の値下げが可能な計算となる。ただし問題が二点ある。一点目として、県営水道長期収支計画には水道料金は3年ごとに見直すというルールがある。これに基づき3年後は再び受水費が上がる可能性がある。二点目は本町の水道施設の老朽化の問題である。平成25年8月に長岡ポンプ場で老朽化による深刻な事故が発生した。夜を徹しての作業により事なきを得たが、復旧できなければ長岡ポンプ場から東の区域約1200戸が断水す

る危機的な状況であった。

このようにまだ使えるという状況で使っている機械が突然止まってしまった場合にどうなるかを考えると非常に不安である。

今後、老朽施設の更新と地下の配管の布設替えをしていかなければならず、これらの対策にかかる資金として、これまでは上水道企業会計

で持つ内部留保金で対応してきたが、現状では枯渇することが容易に想定できる。

以上の理由から、今回の県受水費の値下げ分については、水道事業経営の体力を保持するという必要性から、本町の水道料金の値下げはしない方針であり、水道審議会を開催した上で、報告、理解を得たいと考えている。



南山にある水道施設

亜炭鉱廃坑の今後の対応について



佐谷 時繁

問 亜炭鉱廃坑の今後の対応について

この問題は、財政規模、また人的にも御嵩町単独での解決は到底無理である。今後、岐阜県、国との連携を密にして全面解決を目指すことが求められる。各報道によると、県が全国初の「亜炭鉱廃坑対策室」を設置し、取組みを強化すると表明した。今までの「商工労働部」での対応から今後は「亜炭鉱廃坑対策室」を立ち上げ、住民の生命・財産を守るなどの決意を総括管理監が述べている。その中で、御嵩町の現

在と、将来のためにも全面解決に向け全力で取り組まなければならぬ。長年この問題に苦慮してきた御嵩町としては、大変心強い県の対応だと思う。幸い、県と御嵩町は、今、大変良好な関係だと認識している。全面解決に向けた町長の見解を伺う。

長年この問題に苦慮して

御嵩町としては、大変心強い県の対応だと思う。幸い、県と御嵩町は、今、大変良好な関係だと認識している。全面解決に向けた町長の見解を伺う。

御嵩町は、全国に亜炭鉱廃坑のある市町村のなかでも、先駆けて、空洞深度分布図を作成・公表し、充てんに係る工法の実証実験を試みるなど取り組んできた。これまでの取り組み

九月議会以降の亜炭鉱廃坑対策の取り組みと県との連携について説明させていただく。引き続き国に対して働きかけを実施している。十月末に町長と知事とで資源エ

を活かすべく、県との連携を強化していきたいと考えている。

答 町長

県、国と連携を密にするルートとして、町・県・国の行政ルート、町長・議員・県議や国会議員から所管大臣への政治ルートがあると考えている。これまで行政ルートを整えつつ、政治ルートの活発化を心掛け行動してきた。今回の県の亜炭鉱廃坑対策室の設置には大変感謝をしております、心強く思っております。新年度から本町においても同様の部署の設置を考えている。ただ、本来なら本町が県に先行してそのような部署を設置しておくべきではなかったかという反省は

しているところである。亜炭鉱廃坑の件に關しては、町長に就任して以降、御嵩町として地道な努力の結果が今日の状況に繋がってきたのではないかと考えている。帰着点はまだ先だが、今やっておかなければならないことは着実に進展させ、後世に繋げることができるような実績を残していくことだと考えている。やつと指がかかった段階であり、現時点で詰めを誤らないことが最も大切で、行政・議会一体となつて一層の努力をしていきたいと思つている。歴史的な事業であることを理解いただき、ご協力をお願いしたい。

近隣市・町とのバスの連携



山口 政治

問 近隣市・町とのコミュニティバスの相互乗り入れや乗り継ぎについて

平成25年4月に再編された、ふれあいバス・ふれあい予約バスの利用者の要望で、来年度は、更に利便性向上を図るため、バス停の増設、増便をされるようで利用者の増加を期待する。

可児市とは名鉄広見線等、公共交通で繋がっているが、隣接する土岐市・瑞浪市とは、直接公共交通では結ばれていない。両市のコミュニティバスの停留所と、御嵩町のふれあい予約バスの停留所は、2キロ

以内であり、相互の乗り継ぎや乗り入れを検討できないか伺う。

答 【総務部長】

現在土岐市民バスは「次月峠」のバス停とJR土岐市駅を結ぶ「美濃焼団地線」が平日6便、土日祝日2便あり、瑞浪市コミュニティバスは、大久後地区に一番近い「西大久手」バス停とJR瑞浪駅を結ぶ「日吉線」が平日1便あるようです。これらの路線の停留所に本町のふれあい予約バスのルートを延長し、バス停を併設すれば利用者が増加するのではないかと伺う。

「質問ですが、予約バス上之郷線は、1日8便ありますが名鉄御嵩駅を起点に右回り、左回りと、実質4便は逆ルートとなります。また、デマンド方式なので、利用者が他に有ると、相乗りになり目的地以外のバス停を経由することとなり、正確な到着時間が事前に分からないなどデマンド方式は、乗り継ぎには不向きです。それ以外にも、運よく乗り継ぎができたとしても、両市ともコミュニティバスという性格上、市内の公園や公民館などを点々と経由したルートになっているため

戦略研究会の部会で話し合われています。リニア開業を契機に東濃、中濃の各市町が地域の活性化に繋がりたいとの強い思いが芽生えていることから、今後本町としてこうした視点から幹線公共交通（鉄道）を結ぶ広域のバス交通路線整備を検討し、近隣自治体と連携し、国、県に路線網の整備や補助制度創設など働きかけていきたい。



【ふれあい予約バス】

行政サービスの向上で御嵩町を笑顔に



大沢まり子

問 行政サービス向上について

- ① 「接遇マニュアル」は活用されているか。
- ② ネームプレートに顔写真を入れているかどうか。
- ③ 来庁者への声掛けの励行。
- ④ 障がい者用駐車場に内部障がい者、妊婦などの表示を求む。
- ⑤ 公共施設に「赤ちゃんステーション」の設置を求む。
- ⑥ 町の出前講座の窓口をはつきりとさせ周知徹底していただきたい。

答

【総務部長】

① 本町では平成20年度に「御嵩町職員接

遇基本マニュアル」を策定し新人職員に接遇研修を実施しています。

② 今後は、全職員にマニュアルを活用し接遇の基本である「心のこもった対応」ができるよう研修を行っていききたい。また、その効果の検証のため来客を対象にサービス満足度を計るアンケート調査を実施したい。

③ 行政サービス向上には、まずマニュアルを活用した接遇研修を最優先で行いたい。

④ 来庁者への声かけは、接遇研修の最優先事項として取り組みたい。

⑤ 提案された駐車場

の表示は、本庁舎玄関前と西側の駐車場の一部に行いました。

⑤ 「赤ちゃんステーション」という表示をするためには、「授乳の場」「オムツ替えの場」「ミルクのお湯」のいずれかを無料で提供できる施設として岐阜県に申請し、登録される必要があります。現時点でも、こうしたサービスの提供が可能な施設があるので、すみやかに申請等の手続きをしていきたい。

⑥ 出前講座は、正式名称を「御嵩町ふれあい講座」といい、「町財政」「選挙制度」「高齢福祉」など18のメニューがあります。そ

の中から要請された講座を担当職員が地元へ出向いて、分かり易く説明を行う制度で窓口は生涯学習課です。

発足から15年以上経過しているので、再度、広報紙等で周知を図っていききたい。

問

「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の成立を受けて消防団の処遇改善を求む。

答

【総務部長】

現在、本町消防団員の定数は160名で、定数に対する充足率（実際に任命している団員数の割合）

は100%でありませんが、自営業の方の減少や、雇用形態の多様化などにより地域社会における繋がりが希薄になってきており年々消防団員の確保が難しくなっています。

本町では新入男性職員や若手男性職員は、町外在住者を含め原則全ての者が分団に入団し、全団員における町職員の比重が高まっています。しかしながら、職員だけでは当然定数に満たないので、団員の報酬増額など処遇改善の検討や退団者を「災害支援団員」に任命するなど積極的な人材の活用を図り、消防団員定数の確保並びに地域防災力の充実強化に努めていきたい。

女性消防団員の獲得と退団年齢の引き上げについて

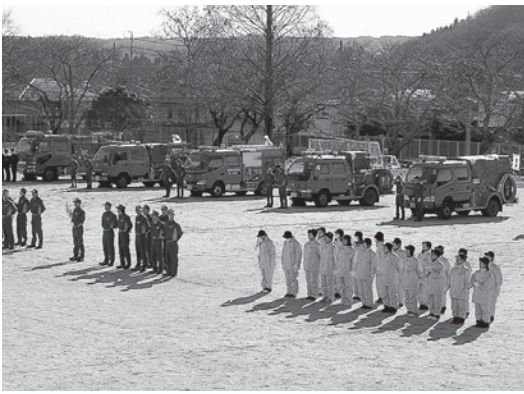


安藤 雅子

問 女性消防団員の獲得に向けて

町内で災害があった時、町民が頼りにする消防団員が減少傾向にあります。また、多くの団員は33歳から35歳で退団しています。

全国では、女性消防団員が年々増加し、女性ならではの活動を展開しているところ。身近で地域の事情もよくわかっていて、真つ先に駆けつけてくれる消防団について、御嵩町における女性団員の獲得、退団年齢の引き上げについてお伺いします。



【消防団員と婦人防火クラブ】

答 【総務部長】

薄化により、年々難しくなってきた。退団年齢に関しては、各分団ごとに新入団員の数などを勘案して運用で決めていく、町で一律に決定できませんが、現役の団員数を補う意味で本町では「災害支援団員」制度を平成21年度に創設し、退団者を支援団員に任命することで地域防災力の減少を補ってきました。こうした機能別団員の導入の他に、団員確保の手法として女性を消防

本町消防団員の定数は160名で、現在定数は、確保しているものの、就業形態の多様化などにより、火事や災害時の消防団員の実出動人員は年々減少傾向にあり、また団員確保のものも、地域社会への参加意識の希

いて、町で一律に決定できませんが、現役の団員数を補う意味で本町では「災害支援団員」制度を平成21年度に創設し、退団者を支援団員に任命することで地域防災力の減少を補ってきました。こうした機能別団員の導入の他に、団員確保の手法として女性を消防



【消防団員との防災訓練】

現在本町では、婦人の会で組織する女性防火クラブがあり、火災予防の啓発活動などに携わっています。本町では、平成22年3月に策定した第2次男女共同参画プラン

で「地域防災への女性の参画促進」を掲げています。現状ではまだ、消防団は男性という先入感が女性にあることも事実なので、これからの男女共同参画社会実現に向け、女性の意識啓発に積極的に努め、女性消防団発足に向け前向きに検討していきたい。

固定資産評価審査委員

三宅直樹氏を選任

住所

御嵩町中（大庭台）



平成22年から3年間務められた三宅直樹氏の任期満了に伴い、同氏を選任（再任）することに同意する案が可決され、12月21日付けで町長から任命されました。

任期は平成25年12月21日から平成28年12月20日までです。

民生文教常任委員会施設訪問

民生文教常任委員会では、平成25年11月18日（月）に学校教育関連施設を訪問し、職員から説明を受け、教育現場の状況を確認しました。



施設訪問（御嵩小学校）の様子

＜訪問した施設＞

- 上之郷小学校
- 上之郷中学校
- 御嵩小学校
- 向陽中学校
- 給食センター
- 伏見小学校

町議会のやくわりは？

町民



私たちの意見や希望をかなえてくれる人を選挙で選びます。

◎議決機関と執行機関

町議会は議決機関として、町政を進めるうえで大切なことがらを話し合い、決めていくところです。そして、町長をはじめとする執行機関は、町議会の決定にそって実際に仕事を進めていきます。

町民のくらしをよくする仕事をします。



議会

町の仕事の内容や、お金の使い方について提案します。

町の仕事の内容や、お金の使い方について協議し、決定します。



町長

民懇談会報告

伏見公民館
11月24日開催

- ・御嶽宿には人が集まるが、伏見宿には人が集まらない。活動の場として御嶽宿と線としてつながりたい。
- ・FM ちらとして、予算をお願いしようとして来たが、議会の役割でないことが分った。地元ラジオ局があることが知られていない。いろんな情報発信をしたいのでいろんな情報を頂きたい。

3 アンケート集計

- ① 性別 男性6名 女性4名 ② 地区別参加者 伏見6名 中4名
- ③ 40代2名 50代2名 60代5名 70代1名

4 アンケートで頂いたご意見

- ・今後も続けてください。(60代女性)
- ・住民と行政のパイプ役の議員さんのお話を聞く貴重な場でした。ありがとうございました。住民の声を聞き、行政へ届けていただけることを期待しています。今後もこのような懇談会を開いていただけるといいです。座談会のように、もっと和気あいあいと話せるのもいいですね。ありがとうございました。伏見地区のこともよくわかりました。(50代女性)
- ・伏見児童館の問題について発言。名鉄広見線の問題についての発言。「地域環境保全活動支援金」の問題についての発言。議員の住民報告についての問題についての発言。(調査依頼について)一般住民からも議員を通じて議会の一般質問をしたい。(70代男性)
- ・懇談会のPR不足、参加者が少ない。(50代男性)
- ・今回は大変ありがとうございます。御嵩町LPガス業者代表で参加させていただきました。児童館の件ですが、自立型避難の意識についてどのようにお考えかが知りたい。また、町内LPガス業者5社で説明会もできます。町長には5社でプレゼンをしたこともあります。災害用バルク、非常用発電、炊き出しセット等対応。国の補助金等も活用。コンサルタント（設計）と地元業社の公聴会は、どうですか？相談窓口の方は？(40代男性)
- ・児童館設置について、地元説明会を行なって下さい。現児童館職員の方の要望を取り入れた設計にして下さい。藤岡さん(中山道ゆったり伏見宿)が活動されていることについて、文化財保護と再生について、補助金が出ないか質問されたが、町としては難しいとの解答。その活動に対する補助はできないのか、頑張っている人を応援すべきと思う。(60代男性)
- ・先日は岡本議員、安藤議員にFMちら火曜モーニングラインにご出演頂きましてありがとうございました。このような懇談会に出席するのは初めてなので、とまどいが大きいです。色々な意見が聞けて大変勉強になりました。名鉄広見線継続の問題はもっと考えなければいけないことだと思いました。これからもよろしくお願いします。(40代女性)

第3回

御嵩町議会住

1 議会活性化に向けた取組みと伏見児童館建替えの状況を報告

① 御嵩町議会活性化に向けた取組み

住民の皆さんからの主なご意見

- ・ 議会だよりによるとほとんどの案件で賛成になっている。否決しなければならない場合もあるのではないかと。
- ・ 議員提案こそ、議員の生命線ともいえるので、どしどし議員提案ができるよう願う。



② 伏見児童館建替えの状況

住民の皆さんからの主なご意見

- ・ 行政が報告するような内容であり、議会が行うのはおかしいのではないかと。
- ・ 老朽化しており、必要性は認めるが、小学校の空き教室を使用する等、緊急性のないものにお金を使うべきだと思えない。
- ・ 現状より建物の床面積を増やし駐車スペースをとるとなると、子どもたちの活動の場であるグラウンド等の面積が狭くなり、車の進入による事故も心配である。
- ・ いつものことだが、決定してからの報告では、要望を聞き入れてもらえないので、予算付け前に住民の意見を聞いて欲しい。

2 その他、住民の皆さんから頂いたご意見やご要望

- ・ 町の活性化は中央に厚く、伏見や上之郷に薄い。
- ・ 環境モデル都市だけでは、人はよべない。このまま無策では町が衰退してしまう。
- ・ 古民家を修復していきたいと考えている。伏見地区を元気にしていきたい。まちづくり助成金を利用したいが、それ以外に助成金はないのか。町長はできないの一点張りで、アイデアも頂けない。
- ・ 町は住民との協働でとは言うものの、まったく協働ではない。「あなたの声を町政に」では、回答は届くが町長からの回答が欲しい。
- ・ 議会は議員間討議をしているなら、そこで住民の意見を取り入れ、一般質問の材料にして欲しい。
- ・ 御嵩町は昭和60年に非核都市宣言をしているが、町として平和予算を組んで平和を訴えて欲しい。美濃加茂市では毎年、長崎へ子どもたちを送り込んでいる。
- ・ 願興寺を何とかしたい。

成人学習講座 議会議場見学

平成25年11月8日（金）町で開設されている成人学習講座に参加された皆さんが、御嵩町議会について議長から説明を受けました。



議場見学の様子

議会日誌

〔25年11月～26年1月〕

11月

- 1日 菊花展コンクール
- 6日 第4回臨時議会
- 7日 議会活性化研究会
- 7日 共和中学校組合議会定例会
- 7日 可茂地域市町村議会議員研修会
- 8日 成人学習講座 議場見学
- 10日 可児郡消防連合演習
- 11日 政権与党国会議員との意見交換会
- 12日 全国環境整備事業協同組合連合会・公益社団法人岐阜県浄化槽連合会大会
- 13日 全国町村議会議長大会
- 14日 全国町村議会議長大会
- 15日 多治見法人会面会
- 16日 可児農業祭
- 18日 議会運営委員会
- 18日 民生文教常任委員会文書施設訪問
- 21日 民生文教常任委員会協議会

12月

- 2日 全員協議会
- 2日 議会運営委員会
- 3日 岐阜県町村議会議長会臨時総会
- 4日 中濃地域農業共済事務組合議会定例会
- 4日 新消防車両貸与式
- 5日 第4回定例会（初日）
- 8日 可児駅伝競走大会
- 8日 エッセイ募集事業表彰式
- 10日 第4回定例会（一般質問・委員会付託）
- 13日 民生文教常任委員会第4回定例会（最終日）
- 13日 全員協議会
- 13日 議会活性化研究会
- 24日 松野湖クリーン作戦
- 26日 民生文教常任委員会協議会
- 28日 総務建設産業常任委員会協議会
- 30日 井尻八百津線付替工事着工式

1月

- 1日 迎春の会
- 5日 消防出初式
- 6日 仕事始めの式
- 6日 議会報編集委員会
- 12日 成人式
- 15日 可児青年会議所例会
- 19日 可児口腔保健講演会
- 23日 議会報編集委員会
- 24日 可茂地域町村行政懇話会
- 27日 議会運営委員会
- 30日 岐阜県町村議会議長会
- 30日 地方財政対策等説明会
- 31日 第1回臨時議会
- 31日 全員協議会
- 20日 全員協議会
- 25日 可児川防災等ため池組合議会定例会
- 27日 可茂地域二部事務組合議会定例会
- 27日 可茂町村議会議長会
- 27日 消防年末夜警激励

編集後記

任期4年間の議員活動も3年目となります。

活動の一環として、議会報編集委員となり、今回の「議会だより」の中で、昨年、11月24日に伏見公民館で開催した議会住民懇談会の内容を報告することになりました。

住民懇談会等を行い、議会改革や安心・安全なまちづくりを行うため、町民の方々のより多くのご意見を町政に反映できるように頑張りますので、これからも議会に対してご指導をよろしくお願ひします。（Y・T）



議会報編集委員会の様子